



# たてやま議会だより



平成28年8月号 114 発行 / 館山市議会 〒294-8601館山市北条1145-1 電話0470-22-3527  
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



新井海岸から望むダイヤモンド富士

平成28年6月定例市議会

**館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定についてなどを議決**

6月定例市議会は、6月3日から24日までの会期22日間にわたり開かれ、市長から提案された12議案と議会から提出された2議案が、いずれも原案どおり可決されました。

6月定例会において、会期初日（6月3日）は、会期を22日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

6月14日と15日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考え方をただしました。6月20日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託し、その後、専決処分の承認の審議・採決を行いました。

最終日（6月24日）は、各委員会における審査の経過

## ■主な内容■

- ★議案の概要と委員会審査 2~5頁
- ★一般質問 6~11頁
- ★議決結果 12頁

及び結果について、委員会の報告をした後、質疑、討論、採決を行いました。 続いて、追加議案の審議及び議会提出の議案の審議を行い、採決した後に閉会しました。

## 新副議長の紹介



第60代副議長に

石井 信重 議員

議長 榎本 祐三  
副議長 石井 信重

長になつたこと等に伴い、議会改革特別委員会の委員に本多成年議員が、三芳水道企業団議会議員に今井義明議員がそれぞれ選任されました。

## 各委員会 委員の紹介

(○委員長、○副委員長)

総務委員会委員(6人)

◎望月 昇 ○太田 浩  
石井 敏宏 瀬能 孝夫  
福岡 信治 本橋 亮一

文教民生委員会委員(6人)

◎石井 敬之 ○森 正一  
吉田 恵年 鈴木 正一  
内藤 欽次 鈴木 順子

建設経済委員会委員(6人)

◎龍崎 滋 ○室 厚美  
今井 義明 本多 成年  
石井 敏宏 榎本 祐三

議案第39号 館山市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について館山市市税条例と同様の理由により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第41号 平成28年度館山市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について平成28年度分の学童クラブの入所募集を行ったところ、定員を大きく上回る申込みがあり、その入所希望に応えるため、急ぎよ受入れ枠を拡大したことから、学童クラブ運営委託事業を増額する補正予算を、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第42号 館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について館山市福祉作業所の利用者に対する支援体制の一層の充実を図るため、現在の施設を引き継ぎ、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業を実施する法人に市有財産を譲渡することから、この条例を廃止しようとするもの。

6月定期会に提案された議案を紹介します。

を認めようとするもの。

## 議案の概要と委員会審査

(委員長 龍崎 滋議員)

今回譲渡を検討する理由となつた、施設利用者への支援体制の強化に関して、昨年度の状況の推移を聞いたところ、障害者の就労の支援を進めていく上で、施設利用者の工賃の向上を図るために、支援員の増員や、送迎サービスの実施など、支援体制を充実させる必要があるが、そのためには、委託料を増額しなければ、運営側の体制が整わない。財源的には、これを從来どおり市の単費で行う場合、大幅な増額は難しいことから、法律に則った形にして、国や県の負担金を活用できるようとするもの。

議案第41号 平成28年度

館山市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について平成28年度分の学童クラブの入所募集を行ったところ、定員を大きく上回る申込みがあり、その入所希望に応えるため、急ぎよ受入れ枠を拡大したことから、学童クラブ運営委託事業を増額する補正予算を、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第42号 館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について館山市福祉作業所の利用者に対する支援体制の一層の充実を図るため、現在の施設を引き継ぎ、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業を実施する法人に市有財産を譲渡することから、この条例を廃止しようとするもの。

議会構成の一部を変更 副議長辞職に伴う副議長選挙及び組合議会議員の補欠選挙並びに任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選などが最終日に行われ、新しい議会構成は次のとおりになりました。  
また、石井信重議員が副議

議案第40号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について館山市市税条例と同様の理由により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第41号 平成28年度館山市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について平成28年度分の学童クラブの入所募集を行ったところ、定員を大きく上回る申込みがあり、その入所希望に応えるため、急ぎよ受入れ枠を拡大したことから、学童クラブ運営委託事業を増額する補正予算を、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第42号 館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について館山市福祉作業所の利用者に対する支援体制の一層の充実を図るため、現在の施設を引き継ぎ、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業を実施する法人に市有財産を譲渡することから、この条例を廃止しようとするもの。

施設利用者の食事と送迎に

### (3) たてやま議会だより

ついて聞いたところ、事業者の企画提案の中での食事と送迎のサービスを提供することになつておらず、食事については230円程度の自己負担額が発生するので、個々の利用者の意向を聞いて実施すると話があつた、との説明がありました。

送迎については自己負担はないのか聞いたところ、自己負担はないとの話があつたとの説明がありました。

譲渡後、市は給付費を支出する立場から、事業運営へのチエック体制をどのように考えているか聞いたところ、譲渡後の運営についても市が状況を確認できるよう、売買の条件として、毎年1回報告を市に提出することとした。また、市は社会福祉法に基づく指導のほか、給付者としてもチェックを行つていく、との説明がありました。

平成27年度は工賃が下がつたと聞いたが、事業者は工賃についてどのような企画提案をしているのか聞いたところ、企画提案書の中での1ヶ月あたりの工賃の目標額は、平成29年度が9千円、平成30年度が1万円となつてている。

県内のB型作業所の平均工賃に比べて低い額ではあるが、送迎については自己負担はないのか聞いたところ、自己負担はないとの話があつたとの説明がありました。

利用者の作業内容について、今後の方針を聞いたところ、現在主体となつてているボールペンの組み立てについては、継続していく。さらに工賃の向上を目指す中での一案として、今後、耕作放棄地などの農地を借りることができれば、施設外就労として農業にも取り組みたいという話があつた、との説明がありました。

また、近隣住民との連携体制について聞いたところ、從来からの取り組みに加えて、今後は事業者が発行する機関誌を配るといった方法により、施設への理解を得ることに努めていく方針であると聞きました。

議案第43号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について II 笠名市営住宅の用途を廃止するもの。

**建設経済委員会の審査  
(委員長 石井信重議員)**

今後、予定した126戸になるまで、毎回条例を改正していくのかと聞いたところ、退去者が出て空き家になつた場合には、このように条例改正をお願いしたい、との説明がありました。

認定する市道の道路敷はどう得の住宅困窮者で安価で借りたいという方と、放置して老朽化するなら安価で活用させたいという方をマッチングさせる仕組みを構築できるか検討する、との説明がありました。

認定する市道の道路敷はどこまでになるかと聞いたところ、海上自衛隊館山航空基地の外構のネットフェンスから道路側へ50センチメートル離した所から堤防側の側溝を含まない区域までとなる、との説明がありました。

また、市道認定した後に、新たに舗装をする予定はあるのかと聞いたところ、当分現状のままだが現況の道路幅を



館山市福祉作業所

ある、との回答がありました。そうすると、過去5年間の応募倍率が2倍程度で推移しているとのことだが、新たな入居希望者はなかなか入れないのでなかなと聞いたところ、市営住宅に空きが生じた場合には直ちに住み替える方の分を確保したのち、残った空き室を募集にかける、との説明がありました。

その内容について聞いたところ、例えば市道と市道を連絡する道路、公益的施設と連絡する道路等の認定要件があり、構造的要件としては道路の有効幅員が4メートル以上あり、かつ有効幅員4メートル以上の道路と接道しているなどの条件がある、との説明がありました。

終点を鷹の島公園から沖ノ島入口まで延長しようと/orするの。

### 建設経済委員会の審査

一般的に市道認定はどんな基準で行つているのかと聞いたところ、今回、従来の市道認定の内規を一部補完して館山市市道認定要綱を作成しました。

変更について II 宮城交差点を起點とする市道246号線の

一部拡幅する必要性はある、との説明がありました。

議案第45号 平成28年度

2号) 二歳入歳出それぞれ  
3億6976万5千円を減額  
し、総額186億6907万

主要事項として、地方公会  
計整備事業、コミュニティ事  
業補助金、国民健康保険特別

活性化推進補助金、過疎地域等自立  
会計繰出金、北条学童  
クラブ施設改修事業、  
ニティ医療推進活動支援補助  
金、コミニニティ医療推進基  
金積立金、船形館山線道路整  
備事業、小中一貫校施設整備  
事業、館山市PR冊子作成業  
務、移住定住促進事業、観光  
施設管理事業など。

## 総務委員会の審査 （委員長 石井敬之議員）

市民に対し財務状況を分かりやすくするために作成するものであり、公表を予定している、との説明がありました。

コミュニケーション事業補助金に関する、補助金の申請団体はどのように決定しているのか聞いたところ、一般コミュニケーション助成事業については、申し込みがあつた団体からのプレゼンテーションによつて話し合いで調整しているが、調整がつかないときは最終的にくじで決定している、コミュニケーションセンター助成事業については複数団体の申し込みがなかつたので希望した団体の分を申請している、との説明がありました。

## 市道246号線の様子

市民に対し財務状況を分かりやすくするために作成するものであり、公表を予定しているとの説明がありました。

コミュニティ事業補助金に  
関して、補助金の申請団体は  
どのように決定しているのか  
聞いたところ、一般コミュニ  
ティ助成事業については、申  
し込みがあつた団体からのプ

レゼンテーションによつて話し合いで調整しているが、調整がつかないときは最終的にくじで決定している、コミュニケーションにてイセンター助成事業については複数団体の申し込みがなかつたので希望した団体のみを申請している、との説明がありました。

船形館山線道路整備事業に  
関して、社会資本整備総合交

総務委員会の審査

(委員長 石井敬之議員)  
地方公会計整備事業に關

して複式簿記による財務書類  
はいつできるのかと聞いたと  
ころ、当該財務書類は平成28  
年度の決算について平成29年  
度末までに作成する予定であ  
る、との説明がありました。

船形館山線道路整備事業に  
関して、社会資本整備総合交

付金の交付決定の減額により、船形バイパス整備事業の完了したところ、当該事業は平成33年度完了を目指して実施していくとの説明がありました。

過疎地域等自立活性化推進補助金に関して、豊房地区は過疎化・高齢化が進む地域として交付の相手方となつたが、館山市内の人口の多い地区も条件が合えば交付の相手方となるのかと聞いたところ、過疎地域等の中には半島振興対策実施地域が含まれるので、市内全地区が交付の相手方となりうる、との説明がありました。

過疎地域等自立活性化推進補助金に関して、豊房地区は過疎化・高齢化が進む地域として交付の相手方となつたが、館山市内の人口の多い地区も条件が合えば交付の相手方となるのかと聞いたところ、過疎地域等の中には半島振興対策実施地域が含まれるので、市内全地区が交付の相手方となりうる、との説明がありました。

また、「財政調整基金積立額」について、現在の積立額を聞いたところ、今回の補正後では、約4億7842万8千円となる、との説明がされました。

そこで、館山市の人団や被保険者数から言えば、3億円くらいの積み立ては必要で、そこには理解するが、将来的には都道府県への移行といふこともある中、これ以上積み立てようとする理由は何かと聞いたところ、今回積み立てたとしても、基金の額は前年同期とほぼ同じ額であり基金の目的である安定的な運営のため、積み立てるものである、との説明がありました。

これに対し、安定的な運営という考えは理解するが、やはり剰余金が出た場合には市民に還元するというのが正しいあり方ではないかと

## 文教民生委員会の審査

これらは毎年提出されており、館山市議会としては毎年採択し、意見書を各関係機関へ提出してきている。昨年6月も同様に、意見書を各関係機関へ提出したところであるが、国からはその後、学校現場への予算の減額の提案があつたため、昨年12月の市議会定例会において発議し、改めて、「教職員定数の充実のための予算確保に関する意見書」を提出したという経緯があつた。このような状況がある中、改めて、声を大にして、意見書を出すことに賛成したい、との討論がありました。

また、特に請願第7号の  
中で、請願理由の項目の1

請願第6号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

考える、との意見がありまし  
た。

議案第49号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

議案第49号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き稲葉美恵子さんを推薦し  
ようとするもの。

議案第48号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

国における平成29年度教育  
予算拡充に関する意見書

国際化・高度情報化などの  
社会変化に対応した学校教育  
の推進や教育環境の整備促進

議案第48号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

議案第48号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き稲葉美恵子さんを推薦し  
ようとするもの。

義務教育費国庫負担制度の  
堅持に関する意見書

教育水準の維持向上と地方  
財政の安定を図るため、義務  
教育費国庫負担制度を堅持す  
るよう要望するもの。

つに、危険校舎、老朽校舎の  
改築等の、公立学校施設整備  
費の充実についての要望が掲  
げられている。館山市として  
は、耐震工事の財源確保とい  
うことには非常に苦慮している  
ところであり、この請願を通  
じて、苦しい教育予算の大幅  
な拡充を、ぜひ国に要望した  
いという意味で、賛成した  
いとの討論がありました。

**【議会提出議案】**  
発議案第7号 義務教育費  
国庫負担制度の堅持に関する  
意見書について 〃請願第6号  
の趣旨による。

**【追加議案】**  
議案第47号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

**【追加議案】**  
議案第47号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

**【追加議案】**  
議案第47号 人権擁護委員  
候補者の推薦について(6月  
24日提出) 〃人権擁護委員が  
任期満了になるので、人権擁  
護委員法の規定により、引き  
続き北見邦子さんを推薦しよ  
うとするもの。

護委員法の規定により、新た  
に押本一美さんを推薦しよう  
とするもの。

等のため、平成29年度教育予  
算の拡充を要望するもの。

## 表彰状の伝達



表彰を受ける鈴木順子議員

## 表紙の写真について (ダイヤモンド富士)

## 市議会を 傍聴しませんか！

館山は「夕日がきれいなま  
ち」「海越しに富士山が見える  
まち」として有名ですが、毎  
年2回、運がよければ海越し  
の富士山に夕日が落ちていく  
「ダイヤモンド富士」を見る  
ことができます。

館山市からダイヤモンド富  
士が見られるのは毎年5月と  
7月の2回で、その日には多  
くのカメラマンが鏡ヶ浦越し  
のダイヤモンド富士を撮影す  
るために訪れます。  
(ダイヤモンド富士が見られ  
る日については館山市のホー  
ムページをご覧ください。)

傍聴の手続は、希望する当  
日に議会事務局(市役所2階)  
前で用紙に住所、氏名等を記  
載するだけです。  
また、本会議を開いている  
時は、インターネットで、本  
会議の生中継を配信していま  
すので、ご利用ください。(館  
山市のホームページをご覧に  
なれます。)

また、本会議を開いている  
時は、インターネットで、本  
会議の生中継を配信していま  
すので、ご利用ください。(館  
山市のホームページをご覧に  
なれます。)

## 2017年版 市政概要の販売

市政概要には、市のあゆ  
み、予算、決算、各種事業内  
容などが掲載されており、一  
部500円で販売していま  
す。ご希望の方は、議会事務  
局でお求めください。

## 次の定例会の予定

- 開会日:  
9月1日(木)午前10時から
- 一般質問:  
9月6日(火)、7日(水)  
予備日:8日(木)  
各日午前10時から
- 請願・陳情提出締切:  
8月26日(金) 正午まで

# 一般質問

## 一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、6月14日と15日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとあります。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

(質問順)

	<b>瀬能 孝夫</b> ①大規模地震への備え(市内又は安房地域の活断層、取り組むべき課題、井戸水やろ過機の活用、備蓄食料以外の食糧供給体制) ②若者の政治的関心を高める政策形成過程への参画(各審議会委員の若者の積極的登用、青少年の視点による市政やまちづくりに対する意見を反映できる体制整備)
	<b>内藤 欽次</b> ①高齢者福祉の施策(特別養護老人ホームの待機者を減らすための施策、介護予防支援事業の国と市の財源の負担割合) ②熊本・大分地震災害を受けての館山での防災対策(市は地震・津波の想定と対策をどう考えているのか、避難に関する市の施策) ③坂田残土埋め立て事業の3年の事業延長(事業がさらに3年延長されることを知っているか、市はこれに反対し、県にその意思を伝えるべきではないか)
	<b>室 厚美</b> ①館山市の地産地消に向けた取り組みと課題 ②館山市が「特別区連携プロジェクト」及び「幸せリーグに参加した目的と具体的な取り組み ③青木繁「海の幸」記念館の今後の運営に関する市の考え方について ④「館山市ふるさと納税返礼品等選定委員会」の組織運営について
	<b>鈴木 順子</b> ①高齢者施策(人づくりの必要性、生活困窮の状況) ②特別支援学級の状況(特別支援学級数及び児童生徒数、支援員不足に対する現場からの要請への対応)
	<b>石井 信重</b> ①小中学校のアレルギー疾患に対する取り組み(アレルギーによる疾患の現状認識と対応、給食における食物アレルギー等への具体的な対応策) ②新学校給食センター整備事業(今後の整備事業の予定と実施設計等の事業内容、食物アレルギー等への対策や考え方) ③平砂浦の自然環境の保全と活用(保安林機能となる植林の進捗状況、平砂浦の景観に対する認識、自然環境を利用したイベントの開催状況)
	<b>石井 敏宏</b> ①坂田の残土埋め立て計画の再開(残土条例に基づく許可申請の状況、事業者による沿線住民への説明会) ②高齢者福祉事業での連携・情報共有(ボランティアの組織化、各事業所が情報共有する場) ③小中学校の整備・改修 ④行財政改革(行財政改革で大切なを振るう時期、行財政改革委員会の会議の公開)
	<b>望月 昇</b> ①安房都市におけるごみ処理広域化(館山市として広域化しなければならない理由、館山市清掃センターの現状と耐用年数、今後のごみ処理広域化に対する負担金予想額) ②館山市立第三中学校の耐震化(市民の生命と財産を守る行政の使命、なぜ第三中学校が最後になったのか、補助金の活用、館山市庁舎建設基金の有効活用、建て替えと耐震化のどちらを考えているか)
	<b>石井 敬之</b> ①館山市の防災対策(支援物資の集積拠点、防災対策の見直し) ②富崎地区・神戸地区の地域活性化(富崎地区の活性化、富崎小学校の有効利用)
	<b>森 正一</b> ①館山市立第三中学校の耐震化(耐震化のスケジュール、費用と工期の概算、学習施設の確保、他の中学校との統合) ②首都直下型地震等の備え(想定外の災害が起きた場合の対策、災害対策本部の地震・津波への対応、避難支援プラン個別計画作成の進捗状況) ③子育て支援(保育園における待機児童の状況、学童クラブにおける待機児童の状況、子どもの貧困対策の現状と対策)
	<b>龍崎 滋</b> ①新学校給食センター整備事業(事業概要で示される付加機能、環境及び安全対策、新たな取り組み) ②農業委員会改革(農業委員会の変化、農地利用最適化推進委員の新設、農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定) ③防災における自助・共助(自主防災組織の体制と機能、福祉避難所の設置と災害時要援護者避難支援プランの運用)

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、8月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

# 主な質問と答弁

## 産業振興・観光振興

は?

◆地産地消に向けた取り組みは?

問 館山市の地産地消に向けた取り組みと課題について聞う。

(室 厚美議員)

答 館山市では、温暖な気候の中で育まれた豊かな海と山の食材を地域内で消費する地産地消を進めることができ、1次産業はもとより地域の産業の活性化に効果的であると考えます。

そのための取り組みとして、平成22年度に地元産農産物の消費拡大を推進するため、館山市内の農産物直売所へ働きかけ、農産物直売所連絡協議会を組織するとともに、翌23年度には、館山産の農水産物を積極的に使用している事業所をPRし、その消費拡大を目指す「地産地消推進店制度」を立ち上げ、現在141店舗の事業所が登録されています。

平成24年度には、地産地消情報を積極的に発信する「地産地消サポーター制度」を立

ち上げ、地産地消を応援する消費者約700名の方に、現在登録いただいています。

また、「地産地消サプライイマー制度」も立ち上げ、103件の生産者や加工事業者などが登録されています。

平成25年度からは、地産地消イベントである軽トラ市をこれまでに16回開催し、「館山まるしぇ」として定着してきました。

また、館山市海岸活性化プロジェクト推進協議会主催の「北条海岸ビーチマーケット」は、これまでに6回開催され、若者など多様な世代に地元産農産物の魅力を伝えるなど、地産地消推進への効果が期待されます。

地産地消を推進する上での課題は、地域で生産される農水産物を地域内に着実に流通させる仕組みや情報発信の体制、農水産物を地域に安定供給できる生産力を維持するための担い手の確保などが挙げられます。

これらの課題を踏まえ、平成26年度には、「たてやま食

のまちづくり計画」を策定しました。

今後もJ.Aや千葉県など

の関係機関と連携を図りながら、担い手の育成支援、青年

就農給付金事業の活用や農地中間管理事業などの各種施策

により、生産力の強化を図つていきたいと考えています。

哲さんや、地元である「青木繁『海の幸』誕生の家と記念碑を保存する会」、「N.P.O法人青木繁『海の幸』会」の皆様方が、館山市のふるさと納税を通じて、資金面での多大なるご尽力をいただいたことにより実現できたものであります。



北条海岸ビーチマーケット

◆青木繁「海の幸」記念館の運営は?

問 青木繁「海の幸」記念館の今後の運営に関する市を考え方について問う。

(室 厚美議員)

答 館山市指定有形文化財である小谷家住宅は、2か年以内に渡る修復期間を終え、新たに

に青木繁「海の幸」記念館という名称で、4月29日から一般公開が開始されました。

今回の修復事業や一般公開は、自宅の公開にご理解をいたいた、当主である小谷福

哲さんや、地元である「青木繁『海の幸』誕生の家と記念碑を保存する会」、「N.P.O法人青木繁『海の幸』会」の皆

様方が、館山市のふるさと納税を通じて、資金面での多大なるご尽力をいたいたことにより実現できたものであります。

一般公開後は、地元の「青木繁『海の幸』誕生の家と記念碑を保存する会」が、自立運営を図るべく、独自にルールを定めて運営に当たっています。

館山市教育委員会では、個人所有の施設であり、入館料を徴収していることから、現在のところ運営に関して財政的な支援は考えていません。

しかしながら、貴重な文化財である小谷家住宅の維持修理や活用を図る上で環境整備等の事案がある場合には、今後も小谷家住宅保存活用支援基金の活用も含め、当主及び地元保存会と意見交換を行い

ながら、対応をしていきたいと考えています。

◆富崎地区の活性化は?

問 富崎地区を今後どのように活性化していくのか。

(石井敬之議員)

答 富崎地区は、マグロはえ繩漁発祥の地として古くから栄え、画家の青木繁が、『海の幸』を描いた場所としても有名であり、歴史的、文化的にも魅力のある地域です。

富崎地区には、このたび青木繁「海の幸」記念館として一般公開された小谷家住宅を始め、「海の幸」記念碑、布良崎神社、阿由戸の浜などの名所や旧跡、あるいは地元産の海産物など、優れた地域資源が数多く存在し、漁協直営ならではの新鮮で豊富な魚介を提供する相浜亭は、多くの利用客で賑わいを見せています。

富崎地区の活性化を進めためには、これらの資源に更に磨きをかけるとともに、ネットワーク化し、官民一体となつて地域の特色を活かし取り組みを行うことが重要だと考えています。

今後も、地域住民の方々や

NPO、観光関連団体などとともに、地域資源を積極的に活用した観光振興や移住定住の促進など地域の活性化につなげるための施策について検討していきたいと考えています。



富崎地区の海岸風景

重点であることを明確化し、担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生の防止や解消、新規参入の促進をより良く果たせるような組織に変わります。

具体的な変更点は、農業委員の選出方法の変更と農地利用最適化推進委員の新設です。

これまで、選挙制と市長による選任制の併用でしたが、これからは地域の農業をリードする担い手が透明なプロセスを経て確実に就任するようにするため、議会の同意を要件とする市長の任命制に変わります。

◆ 農業委員会改革は？  
問 農業委員会等に関する法律の改正法が施行されたが、館山市の農業委員会はどうに変わるのか。

(龍崎 滋議員)

答 現在の農業委員の任期である平成29年7月までは、経過措置として現行のままの組織で運営していますが、その後は、農地利用の最適化

補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めてい

ます。また、耐用年数についてですが、一般的には、建物は、50年から60年、プラント設備は、15年から20年と言われています。

◆ 館山市清掃センターの現状は？  
問 館山市清掃センターの耐用年数はあとどのくらいあるのか。  
(望月 昇議員)

答 館山市清掃センターは、昭和59年10月に稼働を開始し、現在31年が経過しています。

毎年、設備や機器の点検、

施設を建設したメーカーによりますと、プラント設備の適正な更新により、当分の間は延命できると聞いています。

◆ ごみ問題・環境対策  
問 農業委員会等に関する法律の改正法が施行されたが、館山市の農業委員会はどうに変わるのか。



館山市清掃センター

◆ 交通安全・防災対策  
問 熊本地震に対する被災者への円滑な支援に関して、取り組むべき課題は？  
(熊本 地震に備えるために、市として改めて取り組むべき課題があるか。

答 現在の農業委員の任期である平成29年7月までは、経過措置として現行のままの組織で運営していますが、その後は、農地利用の最適化補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めてい

ます。また、耐用年数についてですが、一般的には、建物は、50年から60年、プラント設備は、15年から20年と言われています。

◆ 館山市の防災対策は？  
(瀬能孝夫議員)

答 館山市においては、南

海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、住宅の耐震化率向上や災害時に受け入れる支援物資の供給体制など「熊本地震の教訓を生かし、より一層地震への備え」を着実に進めなければなりません。

また、被災者支援の観点からみた熊本地震の特徴としては、前震の後にさらに大きな本震が起きたことにより、余震で避難者の車中泊が長期化して、行政などの支援が行き届かず孤立化する人や、エコノミークラス症候群で亡くなれる人が出ました。

さらに、周囲の人々と接する機会が減ったケースや、指定避難所には食料も水も集まりましたが、非公式の避難所にはなかなか行き届かなかつたなど、皆が決められた避難所に行くとは限らず、あらゆる所が避難所になることならぬ所が避難所になることなどを次の教訓として知つておかなければならぬという課題など、地域防災計画を今一度確認することにより、避難所を少しでも快適に運営すると、このことから、市民に対し

て発災後の行動規範をしつか

ります。

◆ 防災行政無線等の情報伝達手段の整備を推進するため、屋外子局の増設、老朽化した無線施設のデジタル化無線到達エリアの拡大及び防災ラジオの普及等を図ります。

また、スマートな避難行動が行えるよう避難誘導表示として、津波避難経路の路面シートを避難経路上に設置しました。

さらに、津波災害時に速やかに避難できるようにするため、津波避難場所案内地図看板等を設置しました。

千葉県が公表した津波被害想定では、発災後すぐに避難しない場合、市内での死亡予想者数が約20名となっていますが、直ちに避難した場合は、死亡者数が0名となつて

います。

このことから、市民に対し

## たてやま議会だより

り示すために防災講座や避難訓練を通じて自助力の向上を促していきます。

### ◆館山市立第三中学校の耐震化は?

問 以前に耐震診断をしたのに、どうして第三中学校が最後になってしまったのか。

(望月 昇議員)

答 第三中学校校舎は、当初のI-s値が1・27と耐震性に問題のない建物であるとの結果が報告されたため、安全である可能性が高い建物として、長期的な財政計画には、直近まで耐震整備事業を計上していました。

そして、他の施設の耐震改修が一段落した平成25年度に、念のために最終確認機関である耐震判定委員会に諮つたところ、I-s値が0・33である結果が報告されたため、急きよ、耐震性の脆弱性を解消するための対策について、事業内容や事業規模、スケジュールなどの検討を行つてきました。

また、安心・安全な教育環境の整備と充実を第一に考え、財政面においては、新庁舎建設に備え、長年積み立

てきた貴重な庁舎建設基金を、第三中学校校舎の耐震対策の財源として活用することができないかと考えているところです。

問 耐震工事、建て替え工事のそれぞれの場合における費用と工期の概算について問う。

(森 正一議員)

答 現時点での概算工事費は、耐震改修工事で約15億円程度、建て替え工事で約30億円程度を想定しています。

また、工期については、校庭の整備等を含めて、改修・建て替え共に、2年から3年程度を見込んでおり、調査・設計期間を含めると、さらに複数年に及ぶものと考えています。

◆支援物資の集積拠点は?

問 地域防災計画で館山市コミュニティセンターが集積拠点に適しているとなつていいが間違いないか。

(石井敬之議員)

ある結果が報告されたため、急きよ、耐震性の脆弱性を解消するための対策について、事業内容や事業規模、スケジュールなどの検討を行つてきました。

おける防災施設の整備計画において、館山市コミュニティセンターを、物資の集積、配布拠点として指定していくま

す。

理由は、災害時の避難場所として指定しており、千葉県南総文化ホールが隣接しており、館山自動車道に接続する国道127号の起点に位置するため、適しているというところから指定しています。

ただし、今回の熊本地震のように支援物資が滞り、避難者に届くのが遅れた例もあります。たことを踏まえ、千葉県地域防災計画による「救援物資の供給体制の確保」等を参考にし、今後その他の集積拠点及び集積拠点から避難所への配送計画についても地域防災計画に明記するよう検討しなければならないと考えています。

◆特別支援学級の状況は?

問 支援員不足に対する要請が現場からあるが、どうとらえているのか。

教教育問題・少子化対策

（鈴木順子議員）

答 館山市地域防災計画に別支援教育体制の推進に向けて、今後も継続して国に対する教職員の増員要望や予算要求を行うとともに、学校の現状を見ながら、適切に対応していきたいと考えています。

◆児童生徒のアレルギーによる疾患は?

問 学校管理下における児童生徒のアレルギーによる疾患の現状認識とその対応について問う。（石井信重議員）

答 館山市では、小中学、幼稚園及びこども園にアレルギーを持つ子どもは増加

は、学校・園からの要望に基づき教育委員会が決定していますが、必ずしも要望どおりに配置できていないことは認識しています。

しかしながら、教育委員会としては、平成26年度以降、7名相当の予算を増額しており、可能な限り、学校の要望に応えるよう努めているところです。

教育委員会としては、特別な支援を必要とする児童生徒の就学に当たっては、館山市の教育支援委員会で検討しております、入学後においても継続して子どもたちの経過観察を行っています。

教育委員会としては、特別支援教育体制の推進に向けて、今後も継続して国に対する教職員の増員要望や予算要求を行うとともに、学校の現状を見ながら、適切に対応していくことを認識しています。

また、アレルギーによるシヨツク状態を緩和するための薬品である「エピペン」の使用方法に関する研修などを通して、アレルギーに関する職員の知識の向上を図っています。

◆新学校給食センター整備事業は?

問 今後の整備事業の予定と実施設計等の事業内容について問う。（石井信重議員）

答 平成29年3月までに、建設地の確定及び建築確認申請を含めた実施設計業務を完了する予定です。

建設工事については、学校給食センターの工事期間が通

していると認識しています。この状況を踏まえて、館山市の小中学校及び幼稚園では、今年度から、全ての児童生徒及び園児に対するアレルギー調査を行っています。

保護者からアレルギー調査票の提出があつた児童等については併せて、学校生活管理指導表を提出していただき、学校と保護者の面談により、子どもの状況に合わせた個別の対応プランを作成しています。

また、アレルギーによるシヨツク状態を緩和するための薬品である「エピペン」の使用方法に関する研修などを通して、アレルギーに関する職員の知識の向上を図っています。

また、アレルギーによるシヨツク状態を緩和するための薬品である「エピペン」の使用方法に関する研修などを通して、アレルギーに関する職員の知識の向上を図っています。

常12か月から15か月を要しますので、完成については、早くとも平成30年度の予定です。

実施設計等事業内容については、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」及び厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき、安全な学校給食を安定して提供できる施設設備とすることを最優先とし、付加機能として、災害時における焼き出し機能や施設見学に対応可能な会議室の設置を計画しています。

問 新設設備の建築に伴い新たに取り組みはあるのか。

(龍崎 滋議員)



学校給食調理の様子

設備については、大量調理による食材の安定供給や調理時間が制約があるため、規格外の食材を加工できるような多機能の設備の導入は困難ですが、調理等の対応が可能な食材については、地場産物を積極的に使用していきたいと考えています。

館山市では、全国数値と比較できるような調査を行つていませんが、参考指標として、要保護及び準要保護児童生徒の割合は、平成28年4月時点で8・3パーセントとなりており、平成25年度の全国値15・4パーセントと比べて低い状況にあります。

館山市では、児童扶養手当の支給やひとり親家庭への医療費助成などの経済的支援、館山市ふるさと創生奨学資金制度などによる教育支援、母子家庭等自立支援給付金の支給などによる就労支援等を行っていますが、これらの大綱や千葉県の計画を踏まえ、今後の実施体制の検討や必要な調査・分析も行つてきました。

この決定を受けて、現在、事業候補者と千葉県が整備について協議を行つてているところです。また、介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの基盤整備として、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護の整備に努めています。

この協議体で館山市におけるボランティアの育成や組織体制、活躍方法等の方向性について継続して話し合つています。

◆子どもの貧困対策は？

問 館山市における「子どもの貧困の現状」とその対策について問う。

(森 正一議員)

## 健康福祉・介護予防

◆特別養護老人ホームの待機者は？

問 特別養護老人ホームの待機者を減らすための施策について問う。(内藤欽次議員)

転金を設置する計画であり、また、施設見学等に対応可能な会議室の設置も計画しています。

地産地消につながる施設

◆子どもの将来がそのまま育つた環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な

環境整備と教育の機会均等を図ることは極めて重要であると考えています。

館山市では、全国数値と比較できるような調査を行つていませんが、参考指標として、要保護及び準要保護児童生徒の割合は、平成28年4月時点で8・3パーセントとなりており、平成25年度の全国値15・4パーセントと比べて低い状況にあります。

館山市では、児童扶養手当の支給やひとり親家庭への医療費助成などの経済的支援、館山市ふるさと創生奨学資金制度などによる教育支援、母子家庭等自立支援給付金の支給などによる就労支援等を行っていますが、これらの大綱や千葉県の計画を踏まえ、今後の実施体制の検討や必要な調査・分析も行つてきました。

この決定を受けて、現在、事業候補者と千葉県が整備について協議を行つているところです。また、介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの基盤整備として、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護の整備に努めています。

この協議体で館山市におけるボランティアの育成や組織体制、活躍方法等の方向性について継続して話し合つています。

ついて問う。(鈴木順子議員)

答 孤立ゼロについては、行政や社会福祉協議会各支部、町内会などと協力して取り組んでいかなければなりません。



## 平成28年6月定例会 提出議案等 議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第38号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第39号	館山市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第40号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第41号	平成28年度館山市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	承 認 全会一致
議案第42号	館山市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第43号	館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第44号	市道路線の変更について	原案可決 全会一致
議案第45号	平成28年度館山市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第46号	平成28年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第47号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第49号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決 賛成多数
発議案第8号	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決 全会一致
請願第6号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採 択 賛成多数
請願第7号	「国における平成29（2017）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採 択 全会一致

付託委員会 ( ■ 総務 ■ 文教民生 ■ 建設経済 □ 付託なし )

### 議案ごとの賛否 (賛否が分かれたもののみ掲載)

(議席順)

議員名 議案番号	榎本祐三	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	今井義明	石井信重	本多成年	鈴木正一	内藤欽次	福岡信治	吉田恵年	本橋亮一	鈴木順子
発議案第7号 請願第6号	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。

\* \* 議会報編集委員会 \* \*

(◎委員長 ○副委員長)

◎本多 成年 ○望月昇  
石井 敬之 龍崎 滋 昇

(本多 成年)

市民の皆様に対する説明責任を果たし、市民に信頼される議会となりますよう、これからも議員一同努めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

また、議員自らを律する政治倫理条例についても、現在制定を進めております。

今年度も紙面に掲載したとおり、議会報告会を実施する予定です。

館山市議会基本条例が施行されから1年経過しました。現在、これに基づき、議決に対する議員ごとの賛否の公表や、議会報告会など、新たな取り組みも行っております。

**編集後記**